

旬の話題をお届けします！

全肢長通信

令和4年度 第4号
(不定期発行)

令和5年1月 4日 発行



ミラコン2022 Final Stage in KOMEI



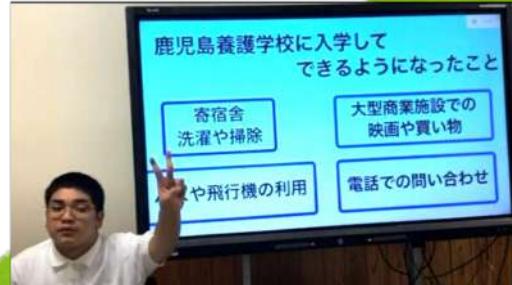
昨夏から全国各地の肢体不自由校高等部生によって繰り広げられてきた熱いプレゼンテーションが、いよいよファイナルステージを迎えた。ミラコン2022～未来を見通すコンテスト～プレゼンカップ全国大会の開催です。

令和4年12月14日(水)、東京都立光明学園アリーナの特設会場をメインに、全国7ブロックから選出された代表生徒の学校をオンラインでつないで開催しました。今年は第5回目となり、最優秀賞に相当する文部科学大臣賞を目指し、全国から100件に迫る応募がありました。その中から選抜された代表生徒のプレゼンはさすがに力作揃い。当事者ならではの視点はもちろんのこと、社会全体の状況をも踏まえた発表がみられるなど、一段と深い思索を経て論が構築されていることに感銘を受けました。過去の大会の蓄積がミラコンに挑む全国の高等部生全体の意識の向上に寄与したものと思われます。全国の仲間、先輩たちの発表が生徒の意識を刺激し、より広い視座をもたらしているものと言えましょう。大会を継続する意義を改めて自覚しました。



会長 伴 光明
(都立多摩桜の丘学園)

最優秀賞（文部科学大臣賞）
鹿児島養護学校高等部2年
福留音亜さん



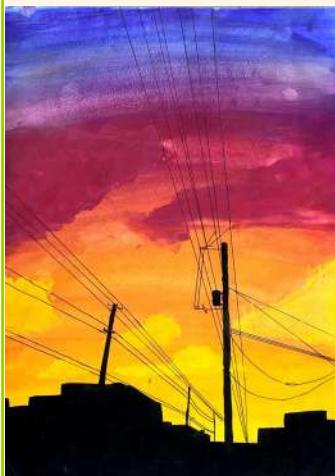
文部科学大臣賞は2年連続で鹿児島県立鹿児島養護学校に輝きました。九州代表は3連覇となります。この勢いが続くのか、他地区の巻き返しがなるのか、ミラコン2023に向けた各校の挑戦に期待します！

最優秀賞	いろいろな個性のある人たちが挑戦できる社会を目指して	
(第1位)	鹿児島県立鹿児島養護学校	2年 福留 音亜
優秀賞	意識改革はトイレから	
(第2位)	石川県立いしかわ特別支援学校	3年 青木 遼
奨励賞	貧困問題について知ったこと・考えたこと	
(第3位)	筑波大学附属鶴が丘特別支援学校	2年 信國 桜子
熱意賞	誰もがスポーツを楽しめる社会に	
	北海道岩見沢高等養護学校	3年 長谷川 宙
独創性賞	私の街を ボッチャの街へ	
	鳥取県皆生養護学校	3年 後藤 瑞希
説得力賞	思い描く理想の未来	
	大阪府立平野支援学校	3年 鐘ヶ江 悟
表現力賞	隣がいがあっても出かけたい～未来への提言～	
	埼玉県立蓮田特別支援学校	3年 佐藤 哉人
観客賞	いろいろな個性のある人たちが挑戦できる社会を目指して	
	鹿児島県立鹿児島養護学校	2年 福留 音亜

最優秀賞・優秀賞・奨励賞の作品は、全肢長ホームページからご覧いただけます。

全肢長会長賞は阿部さん（絵画の部） 横浜市立上菅田特別支援学校高等部1年

古田さん（書の部） 青森県立八戸第一養護学校中学部1年



第41回肢体不自由児・者の美術展/デジタル写真展（社会福祉法人日本肢体不自由児協会主催、当会ほか後援）の表彰式は、さる令和4年12月1日、東京芸術劇場で行われました。オンラインで全国の受賞者と会場が結ばれる新しい形での実施でした。表彰式に先立ち、常陸宮殿下が受賞作を鑑賞され、阿部さん、古田さんと東京芸術劇場がオンラインでつながって、殿下からお言葉をかけていただきました。同展は、絵画や書のほか、コンピューターアートやデジタル写真といった分野でも作品を広く募集しています。来年度も奮ってご出品ください。

京 鳴 蒲 原 藤澤
師 海 原



絶賛発売中 お申し込みはおトクな学校取りまとめで！
学びの連続性を目指す授業づくり
「何をどのように学ばせたのか」を明確にする

令和4年度第3回代表者研が近づきました
令和5年1月20日(金)10時から正午まで
すべてオンライン(Zoom)です！お間違えなく！

【会長のつぶやき】

朝、出勤した職員が業務開始の前、朝のウォーミングアップに読んでほしいことを、日々書きつらねています。校長先生方はそれぞれ校長の意思を浸透させるための工夫をされていることと思います。何かの御参考になればと思い、少しづつご紹介してまいります。

【さくら短信】041202 「黙食」考

にわかに注目されている黙食の見直しですが、さてどんなもんだろうな、と私はハラハラしています。給食の時間のおしゃべりが学校では一番大事、みたいな論調に安易に乗るわけにはいかないぞ、と。

おしゃべりが禁じられて子供たちがかわいそう、それはそうかもしれない。もちろん、自由な会話にこそ喜びがあり豊かな情緒を育む、というのは分かっています。しかし静かな食事の時間がありがたい、聴覚の過敏性から騒がしい環境に馴染めない人もいることを私たちは知っています。だから「全部がそう」とは言い切れない。ノスタルジーで語るのではなく、ユニバーサルな学校の

あり方を考えたいものです。こんな例があつたら是非聞きたい。「黙食を求める中でのコミュニケーションの工夫として、給食の時間に『おいしい！』って頬に触れる手話を紹介し、みんなで『おいしい』『おいしく』って言い合ってきました、そうしたら児童らが手話に興味をもつ機会になりました。」今からでもやってみたらどうでしょうね。

全体に指示して何とかしようとする学校の体質は改めるべきです。おしゃべりをどのように楽しむか、それこそ学級で我がこととしてみんなで考えさせればよいのです。絶好の学びのチャンスです。

ちよこっと点検！



豪雪に見舞われている地区的皆様にはお見舞いを申し上げます。こちらはまだ降雪はなく、日々厚い霜が降りています。年に数回の除雪作業に備え道具の点検や連絡訓練に努めています。スクールバス運行状況把握のために、通学区域内の地理の把握も大切です。

発行:全国特別支援学校肢体不自由教育校長会

事務局長:泉 慎一（東京都立八王子東特別支援学校長）

TEL:042-646-8120 FAX:042-642-2197

Shinichi_Izumi@member.metro.tokyo.jp

〒192-0032 東京都八王子市石川町3246-1